

令和2年度に向けた我が校の教育ビジョン

作成年月日：令和元年12月10日

伊丹市立摂陽小学校

(学級数17学級、児童数426人)

1 本年度の取組状況（11月末現在）

(1) 11月22日に市教委指定の研究発表会を開催

(2) 「確かな学力」の育成について

① 教師の授業力アップによる児童の学力向上を図る。

ア 全教員が年1回以上、公開授業を行い「わかる授業の創造」に努める。

イ 「自分の考えを持ち、自分の言葉で伝え合う子どもの育成」をテーマに、講師を招いての校内授業研究会を年4回実施（6月・8月・11月（実施済み）・1月）する。

ウ 授業の「めあて」をはっきりと示し、「振り返り」の実施を徹底することで、1時間1時間の学習内容を確認しながら、「わかる授業」を心がける。

エ 教材教具やICT機器の活用や工夫を図り、子どもたちの学習意欲を高める。

オ 全国学力・学習状況調査の結果をもとに、学力向上に向けた授業改善を行い、学期ごとに状況を分析し、改善を図る。

② 家庭と連携し、学習習慣の改善を図る。

ア 本校児童の生活習慣・学習習慣について、本校児童の現状を家庭にお知らせし、子どもたちの習慣の改善を図る。

イ 「みんなの学習クラブ」のプリント等を活用し、授業とリンクした宿題を指示し、子どもたちの家庭学習の充実を図る。

ウ 携帯電話、スマートフォン等の利用の仕方について、学校と家庭が連携を取って、適切な使用の仕方を指導する。

③ 学力格差をなくすため、補充学習をはじめ、様々な手立てを講ずる。

ア 毎週水曜日の「放課後学習」の実施、それ以外の日も必要に応じて、放課後の補充学習を行う。

イ 各学年で児童の到達度を確認しながら、授業改善につなげ、学力保障を行うなど、児童の学力定着に努める。

ウ 「土曜チャレンジ教室」でPTAと連携し、子どもたちの学習習慣と学習意欲の向上に努める。

エ 学校司書と連携し、子どもたちの読書量・読書冊数の増加に向けた取り組みや「読書週間」の設定などをしながら「ことばの力」のアップを図る。

(3) 「豊かな心」「健やかな体」の育成について

① 学校行事の活性化による学級、学年、学校づくり

ア 宿泊行事（自然学校・修学旅行）、遠足、体育大会、音楽会、図工展などの行事における事前・事後の指導の充実を図り、子どもたちに達成感・充実感を持たせ、自尊感情の育成につなげる。

② 毎学期に行う取り組みやアンケートなどによる学校生活の見直し

ア 学期に1回「仲間づくり週間」を設け、学級や学年の課題を児童が投げかけ、ともに考え、豊かな人間関係をつくる機会とする。

イ 学期ごとに「いじめアンケート」を行い、いじめの未然防止、早期発見に努め、誰もが楽しく登校できる学校づくりを心がける。

③ 子どもたちの体力をしっかりと育てる取り組みの実施

ア 体育の時間に子どもたちの体幹を鍛えるトレーニングを取り入れるなど体育の授業を工夫し、また、業間を活用してイベントの企画をするなど、子どもたちの健やかな体を育てる取り組みを行う。

イ 伊丹市スポーツテストの結果を分析し、子どもたちの強みをさらに伸ばし、弱みを補強する取り組みを実施する。

(4) 「開かれた、信頼される学校づくり」について

① 学校だより、ホームページの充実に努め、積極的な情報発信に取り組む。

② 地域やPTAとの積極的な連携を図る。

ア 校庭を会場としてPTAや地域の方々に夏祭りの盆踊りやグランドゴルフ大会、もちつき大会等を行っていただき、保護者や地域の方々と子どもたち、教職員との交流の機会を設ける。

イ PTAの協力により、毎月1回、土曜学習「摂陽チャレンジ教室」を実施する。

ウ 保護者のニーズに応えた研修会を設け、学校と家庭との連携を深める。

2 めざす学校像

- (1) 人権教育を柱とし、子どもたちの笑顔があふれる学校
- (2) 子どもの自尊感情を養い、確かな学力を育てる学校
- (3) 保護者や地域と連携しながら、子どもたちの良さを伸ばす学校
- (4) 幼稚園・中学校との連携を深める学校

3 めざす子ども像

- (1) 進んで明るいあいさつができる子ども
- (2) 自分も仲間も大切にし、命や人権の大切さに気づける子ども
- (3) 意欲的に学び、何ごとにもあきらめず最後まで取り組める子ども
- (4) 自分の思いを伝え、人の話を聞ける子ども

4 めざす教師像

- (1) 教育に対する信念と情熱を持ち、一人ひとりの子どもを大切にできる教師
- (2) 子どもの良さを認め、力を伸ばし、自尊感情の育成に努める教師
- (3) 自らの資質向上に努め、豊かな人権感覚を持つ教師
- (4) 子ども・保護者・地域に信頼される教師
- (5) 子どもの実態を常に把握し、協力して迅速的確に対応する教師

5 我が校の特色

- (1) 学力を育む授業の創造をめざし、授業改善に取り組んでいる。
- (2) 「仲間づくり集会」を軸に、教職員や児童の人権意識の向上を図っている。
- (3) 「環境は人をつくる」の精神に基づき環境整備に取り組んでいる。
- (4) 小中の合同研修会を通し、交流会を進め、学習の定着、生徒理解等、指導の一貫性を図っている。
- (5) 学校だより・ホームページ等積極的な情報発信に努め、保護者や地域と連携しながら、子どもたちを育てている。

6 我が校の研究概要

授業こそ最大の学級指導であり生徒指導であるとの信念の下、進路を切り開く学力を育む授業の創造を目ざし、「授業改善」による学校改革に取り組んでいる。

本年度は、研究テーマを「自分の考えを持ち、自分の言葉で伝え合う子どもの育成」とし研究実践を重ねてきた。

立命館小学校 教諭 宍戸寛昌先生を招聘し、研究への指導助言をいただいた。宍戸寛昌先生には、1学期・2学期とご多用の中、校内授業研究会及び研究発表会にお越しいただき、授業改善の具体例を交えてのご指導を仰ぎ、次への課題を確認した。また、校内では「1人1公開授業」を行い、相互交流によるスキルアップに努めている。

7 学力向上に向けた取組

- (1) 「学力向上は日々の授業から」を合言葉に授業改善に取り組み、各学年での学習内容の定着を図っている。

- (2) 全国学力学習状況調査の分析に基づき、授業改善、家庭学習への取り組みを行っている。また、生活面での改善点についても、PTAとの連携により研修会等を行い、朝食摂取率、宿題の取り組み等、成果をあげている。
- (3) 学力向上委員会で各学年2学期末での学習内容の定着について確認を行い、十分でないと分析された内容については3学期の授業に反映する。
- (4) PTAとの連携の下、土曜学習「摂陽チャレンジ教室」を月1回実施している。
- (5) 「摂陽小学校10の約束」を児童が自己点検し、規範意識を高めている。

8 教職員の勤務時間適正化に向けた取組

- (1) 職員朝礼を週1回の実施とし、子どもと向き合う時間を確保するとともに、職員朝礼の電子化を行う。(個人の端末で、朝礼の連絡事項を確認し時間の短縮を図る。)
- (2) 職員会議のスマート化(委員会で意見調整を図り、会議は短時間で行う。)
- (3) 定時退勤日・ノー会議デーの実施により、教職員の意識を高める。教員各自が1週間を見通した校務の進行管理を意識し、本来の業務である子どもたちとの関わりを充実させる。
- (4) 業務改善委員会を定期的に開催し、効率化・利便性アップによる業務改善を推進する。

9 今後に向けて

- (1) 次年度に向けて教育活動の充実を図る。
学校運営協議会での意見や「学校評価」等を活用し、今までの取り組みを分析・検証し、教育活動の充実を図る。
- (2) 信頼関係を築く。
 - ① 人間関係を育てる。
 - ア 1人1人の児童に対する細やかな教育活動を行い、いじめ問題等の未然防止に努める。(仲間づくり週間、個人ノート、アンケート等の実施・活用)
 - イ 保護者と常日頃からの連絡を密にし、何でも言える関係を作る。(家庭訪問、懇談会、PTA行事の実施等)
 - ウ 教師、児童が共に汗を流し、充実感・達成感が味わえる行事を実施する。
 - ② 開かれた学校を作る。
 - ア 学校評価の充実を図る。
保護者、地域の学校に対するニーズをしっかりと把握し、全教員が「成果・課題」を共有し、課題の克服に向けて組織的に取り組む。
 - イ 学校だより、学年だより、学校ホームページを充実させる。
 - ウ オープンスクール、授業参観等の参加者を増やすための工夫をする。
 - エ 研修を行い、危機管理意識の徹底を図る。
- (3) 地域に根ざした学校
将来地域を担う児童との意識を持ち、PTAや地域の方々との連携のもと、健全な成長を図る取り組みを実施していく。
- (4) 「学校運営協議会」の活用
「地域とともにある学校づくり」を目ざし、「学校運営協議会」で学校課題解決に向けて、情報を共有し、連携・協働による学校運営を推進する。

伊丹市立摂陽小学校 校長 松山 和久

我が校のHPのアドレスは・・・<http://www.s-setuyo.itami.ed.jp/>